

『紡ぐ』

想像力大事

人は同じ経験をしないと分らないのではないのか。国会議員(すべてではありません)など、どうしてそんな言葉がでてくるのか?と思わせる人ばかりです。「失言」「謝罪」「撤回」で済む話でしょうか。

自分も経験してなくても、今世の中、情報はいつでも手に入るべきです。それ「想像力」を働かせればいいのです。そうすれば、被害者、被害者に近づくことができます。右のグラフを讀みおいて下さい。政治に関わる人は想像力を持つべきです。



↑ 上は中居の住宅公設館・仮設住宅前です。

→ 右は川原第2仮設・川又川の仮設住宅前です。



鶴保康介参院議員による能登半島地震を巡る問題発言。ある被災者は「今回は議員だっただけで、普段でもそういうこと言う人いるんだよ」とつぶやいた。

「遺族年金がもらえていいね」「いつまで被害者ぶってるん」。能登を離れて暮らす町で、最近、彼女に浴びせられた言葉だという。「能登の人は今も『大変だったね』って声をかけ合ってる。でも被害に遭ってない人は時間がた

風紋

失言

つて(地震の悲惨さを)忘れてるんだね」と語気を強める。

心無い言葉にさらされた彼女は「相手がひどい目に遭えばいいと思うじゃないのに思ってしまう。心がすさんでいくのがつらい」と声を震わせた。それでも「災害の悲惨さを伝えたいから取材に応じている」と気丈に振る舞う。被災者の思いを聞いてもなお、無神経な言葉を「失言」で済ませられるのか。

(高橋信)

この記事は北陸中日新聞・7月22日付けの朝刊に載った記者コラムです。なお、この記事は中日新聞社の許諾を得て転載しています。

知ること知らないの?

もう何回目でしょう? 昨年から、本当に何度も野暮な質問が繰り返されていきます。「命と暮らしを守る」という政治の根本です。景や国に働きかけを強めて何とかして下さい!! (切実な声状いづむ)

相談・投稿は遠慮なく「あした塾」にお寄せください。住所電話は表題のみに。

戦後80年です。教育相談室「あした塾」は戦争反対です。核武装などとはわかない話です。

故郷は無くはない!!

穴水堂

「しんぶん」紙面、第94号で「穴水堂」の記事を載せましたが、この堂を建てたときの大工さんの一人、後藤和田男さんの奥様から当時の写真があるとの連絡をいただきました。いろいろお話を聞いてみると、和田男さんは今年2月に亡くなられたということ。後藤さんは仮設で生活しているけれど、なんと家を修理して...と書いていたそうです。

その後棟梁であつた地下春男さんにもお話をいただきました。もう一人の大工、菅名さんはもう亡くなっているとのことでした。

お、穴水堂の表示板なども書いていたのは、当時の岩手製材社長、岩口貞義さんであること。写真を撮ってくれた方も岩口さんであること。写真を撮ってくれた方も岩口さんであること。写真を撮ってくれた方も岩口さんであること。

んだとのことでした。以下「穴水堂」に関する記事について感想を寄せてくれた景外の方のコメントを紹介いたします。

牧島秀三さん (東京都江戸市)

「穴水堂」の記事、とてもいいですね。この「穴水」密着の話題が読者に喜ばれるのでは。地元人間でなくても楽しめます。

(牧島さんは「能登デモクラシー」を観てから...)

金島久美子さん (岡山県岡山市)

仮設での孤独死のことは胸が締めつけられます。この話題には、これだけ大切ですね。

穴水堂の記事、二年前からこそ必要ですね。穴水とは「湧き出る水」。穴水の誘いであつた。(金島さんは小中学校の校長先生で、以前、穴水にもボランティア活動に来ていました。)

能登デモクラシー

東京のぴあ株式会社企画して実施している「月イチ!」ぴあデモクラシーのランキンングの4月公開映画105本の中で、「能登デモクラシー」が7位にランクされました。1位はデューム・アップ主演の「サウス・スウス」、トム・クルーズ主演の「ミッション・イン・ポッシブル」ということを考えると、ドキュメンタリー映画の「能登デモクラシー」が7位に入ることはすごいことです。

投票者の池上章さんと映画ライターの水上賢治さんが1位にランクしています。

「能登デモクラシー」は9月7日穴水町アールで上映します。



写真の「穴水堂」とは、現存はありません。また、岩口貞義さんは現存の岩口。沖縄在住で、二年前に亡くなれました。

「ぴあデモクラシー」は月に1回、映画レビューを書いている著名人が観た映画で「おすすめ作品」「高く評価している作品」を投票でランキンングを示します。